

御前山ビオトープ通信

平成26年11月10日

第46号

発行：御前山ダム環境センター

編集：NPO「美しい田園21」清野

メール：denen21@hb.tp1.jp

ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



目次

1. 第2回育成活動 平成26年11月10日(月)
 - 1) 道路敷き砂利
 - 2) 護岸改修
 - 3) チロル式取水口と堰上工
2. 昼食、那珂川の鮭の遡上

【案内図】



1. 御前山ダム周辺環境第2回育成活動

今年も実りの秋となりました。11月10日(月)に本年度第二回目の御前山ダム周辺環境育成事業を行いました。

雨天との天気予報も、未明には雨が上がり問題なさそうです。ただ早朝から濃い濃霧がたちこめ、高速道路は速度制限がかかり、一部では事故情報もあり遠来者の到着を心配しましたが、9時半にはダム公園管理所駐車場にほぼ全員が集合しました。

当初は山桜周辺の草刈などを予定していましたが、現場を下見した結果、10月の台風18号、19号の連続来襲に伴う洪水でかなり取水口、護岸などが被災し、また今年は猪による被害も特に顕著だったことから、災害復旧工事を行うことにしました。

1) 道路敷き砂利

資材を搬入するために、道路に敷き砂利をすることにしましたが、そのダンプが猪に掘起こされてデコボコ状態になった路面で立ち往生してしまいました。ロープをかけての人海戦術で何とか引き上げました。

2) 護岸改修

河川増水でビオトープ下流側では護岸の上まで水位が上がり、フトン籠が倒れてこのままでは二次災害の危険があると、修復作業を行いました。

3) チロル式取水口と堰上工

また、かねてから大雨のたびに被災して改修を繰り返してきた取水口ですが、今回の大洪水で堰上げ部の河床まで大きく侵食されてしまいました。

今回は抜本的に改築することになり、オーストリアの山岳傾斜地の取水口で活用されているチロル

御前山ダム湖に映える紅葉



取水口の改修工事



方式を運用して改修することになりました。日本でも中山間地域の水路などで採用されているバースクリン取水工です。「NPO美しい田園21」は農業土木技術者が多いので本命技術でもあります。

資材としてはグレーチング蓋付のU字溝を活用することになりました。これまた人海戦術ですが、250mm×600mmのU字溝を6個河川に向かって敷設し、取水部分はグレーチング蓋の上から水が落ちる構造としました。河床は大きな玉石も出てきてかなり大変な作業でしたが皆の協力でなんとか午前中に完成しました。

併せて堰上げの改修も行い、土嚢袋を吸い出し防止材にして流出した大きな石礫をテコ等を使いながら積み上げました。こちらも人海作業なのでかなりの重労働でした。水位が上がってくると予定通り水が流入し大成功でした。今後大雨洪水で取水口が埋没しても砂利層を通して取水可能なはず。生コンで根固めをすれば完璧なのですが、今回は時間的な都合でここまでとして様子を見ることにしました。

2. 昼食、那珂川の鮭の遡上

作業に夢中になって気がつきませんでした。天候は秋晴れと温かくなってきて汗だくとなりました。

昼食は地元が秋の味覚の汁物（キノコ、シシ肉入り）、混ぜご飯のオニギリ、漬物などを出していただき、爽やかな秋空の下で汗を流したあとで美味しく



完成したチロル式取水口

地元が土産に軽トラック一台の野菜を



頂きました。

また地元の皆さんが、お土産として軽トラ

昼食は汁物（キノコ、シシ肉入り）、混ぜご飯のオニギリ



那珂川の鮭の遡上

ック一杯の白菜、ゴボウ、ダイコン、赤カブなどを用意してくれました。ありがとうございました。

帰路、橋の上から那珂川に遡上してきた鮭の遡上を見ることができました。今年は例年以上に多いようです。

